

第7回（平成21年度第2回）東庄町障害者地域自立支援協議会 概要

日時 平成21年8月10日 14:00～
場所 東庄町保健福祉総合センター 会議室

議 題 就労及び町障害者福祉計画改定に係るアンケート結果を基とした課題の整理について（2回目）

議事進行：保立会長

1) 報告・資料説明

就労に関する行政の取組状況の報告及び配布資料についての説明

報告・説明：福祉係 高安（別添資料のとおり）

- 【報告事項】
- 1) ホームページ更新。その中で、当協議会の紹介ページを新規作成。会議概要及びアンケート結果を掲載
 - 2) 他の会議等の状況報告として
8/4 香取圏域連絡調整会議 障害者部会
8/6 就労自立と支援セミナー

2) 会議内容（別添 会議録のとおり）以下概要

【概 要】

事前に配布した資料に基づき協議を行った。

5) 福祉サービス：福祉サービスの細説項目の中で、意見のあった課題は以下の4つ。

1. § 1②移動手段の充実（生活行動圏の拡大）

就労するための課題の一つとして、職場までの交通手段が無いことが大きな課題となっている。現状の移動支援に関する福祉サービスの適用範囲は余暇活動等の臨時的な外出に限られており、日常的な外出は対象外となっている状況。今後は、就労支援の観点から、移動支援（通勤手段）の課題改善のため、関係機関等から実態把握を行う必要がある。また、施設利用等の利便性向上を図る上でも、既存の公共交通機関（外出支援バス等）の有効活用を図るなどの対応と割引制度の拡充を要望する。

2. § 2①相談支援体制の充実

適切な福祉サービスの利用促進を図る上で重要な課題である。現状は、本人又は家族等が関係機関へ相談し、サービスにつなげるケースが大半であり、対人関係に問題がある方又は周囲の配慮が得られない方等はサービス利用に至らない状況である。情報周知の不足も原因の一つと考えられ、今後、効果的な情報周知の取組方法と、相談支援体制整備の検討が必要である。ただし、行政主体の現状では個人情報保護・人材確保等の課題が多く残されている。

3. § 3⑧「日中活動の場」の充実

障害福祉施設及びサービス種類の少ない地域である。

日中活動の場を充実させることにより、利用者の個々の状況に応じた適切な

サービス提供に繋げる事も可能となり、生活基盤の安定（雇用・就労に関する協議の中でも第一に生活基盤の安定が必要との意見あり）を図ることとなる。

新規施設を町単独で設立することは困難であるが、広域組織での検討は必要である。また、既存の障害福祉施設においてサービス種類及び定員の拡充を検討していただけるよう要望する。

4. § 7③障害当事者団体の活動促進

§ 8②障害当事者団体の育成

団体活動の促進のため、家族教室の開催について意見があった。これは、会員の増加にも繋げる意味でも有効と考えられる。しかし、行政や関係機関等で開催されている相談会等の行事では、一般の方（団体加入者以外の当事者や家族等）の参加者が少ない状況であり、開催にあたっては、このような現状をどのように対応していくか検討を要する。

「相談支援体制の充実」と「日中活動の場の充実」の課題を改善する上で、当事者団体の活動支援は重要であると考えられます。

家族教室及び定例会等の当事者団体の行事を充実させることは、日中活動の場としての活用も考えられ、かつ、日常の悩みを相談する機会を提供することとなり、会員相互の、経験に基づいた相談支援の効果も考えられます。

施設の新規設立や既存施設の機能拡充は長期間の検討を要すると思われるため、当事者団体の活動促進を中心として、今回の協議会で挙げた課題の改善策を検討することも一つの手段と考えられるかと思われます。